

銀 継 ぎ



十三夜：銀継



朝焼：金継

「日本の心」金継ぎを体験してみませんか。

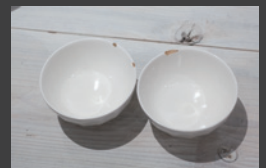
割れたり欠けてしまった器を漆で接着し、金や銀粉を蒔いて装飾しながら直す、日本古来の修復技術を「金継ぎ」と言います。昔の人々は、修理した継ぎ目を「景色」と呼び、「これも、なかなかオツですな〜」と、破損前とは異なる趣を楽しんだそうです。古くから受け継がれる伝統の技術を通じて、ひとつのモノを大切に「繕う」という古き良き日本人の心を、いま一度感じてみませんか。

開催日：金曜日 19:30 ~ 21:00 料金：2,500 円（器・材料費込） 場所：瀬戸内ラスク堂プラス
※参加人数は2~4人まで（高松市三条町 92-1/ 駐車場あり）

workshop 銀継ぎ について

このワークショップは、お気軽に参加できる初心者向けの漆ワークショップです。道具なども一切ありません。こちらで用意した器を使って、欠けた部分に「銀継ぎ」します。完成した器は、当日お持ち帰りできます。※持ち帰り用に袋、バッグなどをご用意ください。プチプチ有。

※金を使用したいという場合はプラス 500 円にて変更できます。
※自分の器を修復したいと言う場合はご相談ください。体験用器と同様な欠け（1cm 程度）でしたら変更可能です。



体験用の器



■ 講師 漆原 早奈恵

<ご紹介>

貴重な文化財はもちろん、欠けた茶碗までも直す、修復が大好きな漆女子。最近では、うっかり器を落として割ったとしても、「良い景色になりますな〜」と目を輝かせるツワモノっぷりを発揮。

<プロフィール>

香川県立高松工芸高校 金属工芸科、富山大学 産業工芸学科を卒業後、目白漆芸文化財研究所にて、文化財修復に従事する。現在は、香川県にて漆芸作家として活動中。

漆工奨学賞・磯井正美賞展 あすなる賞 等 受賞
日本工芸会東日本支部 伝統工芸展 入選
日本伝統工芸 漆芸展 入選